

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和三年四月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー⑪】

《天狗山展望広場》

琴弾公園の山口の井戸の横に遊歩道があります。琴弾山頂への最も近い道で九十九曲（つくもまがり）道とよばれていました。江戸時代にこの辺りで俳人・各務支考（かがみしこう）が「有明」と知らでや松に蝉の声」という句を詠んでいます。遊歩道を登り切ったところを右側に上がって行くと天狗山展望広場があります。昔、頂上に大きな怪物



◆公園清掃日について◆

毎月**第1月曜日**午前八時～九時
今月の清掃日は**4月5日**です。

（雨天：4月12日）

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ 080・3211・1962

観音寺市商工観光課・生活環境課承認済

【琴弾公園クイズ②④】

神恵院にある天神様が音音天神と呼ばれるいわれは、この地で過ごした山崎宗鑑を訪れたとされる童子の音音からきています。俳諧の祖であるこの山崎宗鑑が住んでいたところは何と呼ばれているでしょう。

- ①一朝庵 ②一夜庵 ③日中庵

に似た松があつて見る人がきもをつぶしたということから「魔しよう山」とも言われていました。今はこの松はなく六角屋根の展望台があります。ここからは市街地や雲辺寺山が見渡せ、瀬戸内海の眺望がすばらしく日の出を見ることが出来ます。手前の休憩場所近くには郷土の歌人・石井朝太郎の歌碑があります。

《朝海》

昭和八年詠進歌

動くとも見えぬ白帆の速なりて
あさゝつかなうせとのうち海

（参考・・・かんおんじガイドブック）

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は見られます。



寛永雑談

日本人にとって桜は特別な存在で桜が咲いたり散ったりすることへの感情は言葉に出さなくても共有できるから不思議です。それでありながら人はそれぞれ、その時々々の人生の背景によつて桜の見え方が大きく違います。大病したあと迎えた春の桜は本当に美しく今年も見られたことに涙が出ました。心がすさんでいるときの桜はしらつ茶けて見えてしまいます。観音寺市内では琴弾公園の桜が有名ですが、他にも山田ふれあい緑地・観音寺市総合運動公園・法泉寺・豊稔池堰堤・高須賀夕映公園・杵田川沿いの菜の花とのコラボ等、たくさんのきれいな桜があります。「自分だけの秘密の桜」よかったらそつと教えてくださいね。



◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力が高めること」を主な目的にしている小さなボランティア団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと呼びかけています。